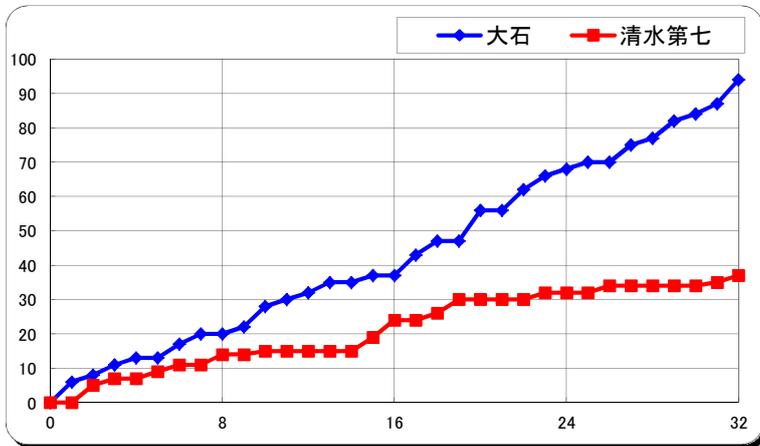




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	春日部市総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 10:50																
コート	Fコート	第2試合															
カテゴリ	男子	予選Fリーグ															
主審	御手洗 亮 (大分県)																
副審	中村 友祐 (北海道)																
Team A		Team B															
大石 (埼玉県)	94	37 清水第七 (静岡県)															
	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>31</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>5</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	14	17	2nd	10	31	3rd	8	26	4th	5	OT			
20	1st	14															
17	2nd	10															
31	3rd	8															
26	4th	5															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		大石					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	遠藤 和希	×	10	0	4	2	1
5	横地 夏樹	×	23	1	10	0	4
6	戸田 健介	／	5	0	2	1	1
7	堀内 孟	／	3	1	0	0	0
8	阿部 諒太郎	×	6	0	3	0	1
9	赤塩 翔	／	5	0	2	1	1
10	阿辻 礼磨	×	4	0	2	0	1
11	佐藤 良輝	／	8	0	4	0	0
12	坂本 天空	／	2	0	1	0	1
13	盛實 海翔	／	13	2	2	3	3
14	三田 裕介	／	0	0	0	0	0
15	星 淳太	／	0	0	0	0	1
16	山口 大希	／	3	0	1	1	0
17	阪本 碧	×	8	2	1	0	0
18	大桃 佑介	／	4	0	2	0	1
監督	伊藤 裕一						0
コーチ	田中 敦子						0
合計			94	6	34	8	15

Team B		清水第七					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	高橋 佳希	×	0	0	0	0	1
5	植田 光樹	×	8	2	1	0	2
6	柴山 泰雅	×	16	0	4	8	0
7	久慈 真樹	×	6	1	1	1	1
8	杉山 航平	×	2	0	1	0	0
9	愛智 廉真	／	0	0	0	0	0
10	橋本 悠真	／	0	0	0	0	1
11	高橋 昂希	／	2	0	1	0	1
12	石月 一晟	／	0	0	0	0	1
13	若杉 佳孝	／	0	0	0	0	1
14	須崎 翔哉	／	2	0	1	0	0
15	長下 拓海	DNP	0	0	0	0	0
16	鈴木 文也	／	0	0	0	0	1
17	永松 僚佑	／	1	0	0	1	1
18	井上 凌輔	DNP	0	0	0	0	0
監督	大城 健太郎						0
コーチ	毎熊 省一						0
合計			37	3	9	10	10

【戦評】

関東ブロック代表大石と、東海ブロック代表清水第七の一戦。1Q、大石はオールコートマンツーマンDef、清水第七は2-1-2ゾーンDef。大石は#5、#8、#4のシュート、清水第七は#6のカットインからファウルを誘いフリースローで得点。大石は#17の3Pで得点、#8がリバウンドからゴール下で加点。清水第七#6がミドルシュートを決めお互いに点を取り合う。清水第七2分9秒タイムアウト。大石#17の3Pで得点。清水第七は#6のOffを中心に、#5の3Pで加点し早い展開での攻防が続いていく。得点は大石20-14清水第七。2Q、清水第七はマンツーマンDefから流れを掴もうとするが、大石は#11のジャンプシュート、#7、#13、#5が連続で3Pを決め、どこからでも得点できる分厚い攻めを見せる。大石は粘り強いDefからリバウンドを取り、優位に試合をすすめる。清水第七#5のカットインからフリースローを得て反撃するが、シュートが思うように決まらない。大石#13の3Pでリードを広げていく。清水第七#6も3Pを決め、#6を中心にOffを組み立て、#5の3Pで得点し追い上げを見せる。勢いに乗る大石は37-24と点差を広げ前半終了。3Q、立ち上がりから大石はオールコート2-2-1ゾーンプレス。清水第七は5分41秒タイムアウトを取り、#6の得点を中心に反撃を試みる。大石は#5の3P、速攻から#10、#8、#4と得点を重ねていく。清水第七は全員でボールを運び#11の得点に結びつけ追いつく。大石はオールコートで次々とボールを奪い点差を広げ68-32で3Q終了。4Q、清水第七は#5が得点する。清水第七はタイムアウトを取り粘りを見せるも、大石94-37清水第七で試合終了。

【戦評記入者】

馬場 秀則

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部